

あかちゃんぐみ

だんだんと子ども達も園の生活に慣れてきて、笑顔で過ごす日々が増えてきています。最近、暖かくなり戸外に出るようになったので、その様子をお話したいと思います。

月齢が小さい初期食を食べている子は 2 階のサンデッキで外気浴をしています。抱っこや敷いてあるマットの上に座ってみると、保育者の顔を見て“なんですか…?”という顔をしつつ、周りをじーと見て眩しそうにしながらもぼかぼかして気持ちよさそうにしていました。

他の子たちは、散歩車に乗って園周辺の散歩に出かけ、帽子を被ることが嫌でちょっと眉間を寄せながらも静かに乗っている子や、暖かさ心地よい揺れで寝る子…等それぞれです。保育者に「〇〇あるよ」「～いたね」等と言葉を掛けられながら、渡されたタンポポをじっと見たり、周りの景色を見て車や花を指差し、「あ～」「うー！」と声を出したりと楽しそうな姿が見られました。部屋に戻る時には、“まだ外にいたいー！！”と泣く子もいて、“また行こうね”と話をしています。

子どもの体調や天候等に配慮しながら、無理のない程度に今後も園庭や散歩に行き、外気や自然に触れていきたいと思っています。

八木橋

ちいさいぺんぎんぐみ

天気の良い日が続いたある日「外で遊ぼうか？」という言葉に「うん」「やあ～(た～)」と嬉しそうな子ども達。「オモチャ片付けてからだよ」と言葉を掛けられると、いつもより急いで片付ける子や気持ちは外に向かっていて窓にくっついていてる子などそれぞれですが、みんな行きたくて必死です。

外に出るには靴下・帽子・靴と準備が色々あって、まずケースから自分で靴下を出すところから始まります。今は自分なりにやったり、やろうとしたりする気持ちが育つような言葉を掛けながら一緒に行っていますが、少しずつ自分でできることが増えてつあるみんなです。

園庭での人気アイテムはスッコプとレーキで、自分の身長位あるものを持って引きずる姿は見ていてとても微笑ましいです。鍋いっぱいに入れた砂を入れて皿や器に盛りつけテーブルに並べては「できたあ～」と友達や先生に食べさせたり、鍋ごと重そうに持って運んだり砂遊びも好きで、時々自分の使っていた皿やスプーンを見失い、隣にいる友達と「〇〇の～」「いやあ～」とトラブルになることもありますが「あれ? あった」とケロツとして遊び続けています。

これから初夏ならではの遊びを十分楽しんでいこうと思います。



清水



おおきいぺんぎんぐみ

あたたかくなり、外に出る機会が増えてきたので、みんなで外遊びの身支度を少しずつ練習しています。「外に行く」という言葉が出ると、その後の説明を最後まで聞かずに、“帽子かぶらなきゃ”“靴下はくぞ”“靴を取りに行かなきゃ”と思いつくままに慌てて動き出す子が多く廊下にダッシュで飛び出しそうなところですが、「先生を追い越さないでゆっくり歩いて帽子を取りに行くよ」と言葉を掛けられると、走りたい気持ちをごつとこらえて歩いて行きます。

コート掛けにかかっている帽子を見つけても、手が届かないという難題がありますが、その時には、高さ8cmくらいの台を足元に持ってきて取るという作戦です。初めての時には「届かない」とただ途方に暮れていましたが、台に乗ったら届くということを知ってから、頑張って台を運んできたり乗って手を伸ばしてみたりしています。

帽子のかぶりかたは…①片方の手で後ろのしわしわを掴み、②もう片方の手でひもを掴み、③ひもを掴んでいる方の手を顎に当てて、④帽子をくるっとくぐる…という手順で覚えしました。日々繰り返すうちに慣れてきたみんなは、各々自分のやりやすい方法を見つけてさらに手早く支度が出来るようになってきています。 小田
外遊びに行く機会がどんどん増えそうで楽しみです。

大きいチームは小遠足の様子をお伝えします。



らっこぐみ

小遠足を前々日から楽しみにしていたらっこ組のみんな。お弁当は園内で食べることにしてリュックに水筒を入れて行くことにしました。行き慣れた双葉公園もリュックを背負っているだけで特別感があるようでみんなウキウキしています。

公園では遊具を楽しんだ後、築山側で遊びました。4月から何度も来ているので桜の花が散って葉がでてきたり、沢山生えていたつくしがなくなり代わりにタンポポが生えていたりと季節の変化を感じることが出来ました。「先生タンポポ～」とタンポポを摘んだり、友達と一緒に山を走って上ったりして楽しみ、てんとう虫やダンゴムシをじっくり観察している子もいました。

帰って来てからはお楽しみのお弁当。遠足だから特別にホールの上で食べることにして持ってきたレジャーシートを広げます。忘れた子が数人いましたが「ぼくのシートと一緒に食べよう」と誘われその後のおやつタイムは「グミ持ってきた!」「あ!これ同じだね」などと子ども同士で話しながら楽しんで食べていました。

大きいチームになって初めての遠足で子どもたちはとても楽しかったようです。秋の小遠足の頃には歩く力をつけてもう少し遠い公園に行き外でお弁当を食べられるようにこれから沢山散歩をしていきたいと思っています。

櫻井



いるかぐみ

みんなが待ちに待った小遠足。前日は行き先や持ち物の確認をし、早く明日にならないかなと楽しみにしていました。

当日は天気恵まれ、みんなで元気に出発しました。いいペースで歩きあつという間に大地公園に到着し、公園ではターザンロープなどの好きな遊具や山登りを楽しんでいます。

たくさん遊んでみんなが楽しみにしていたお弁当の時間になりました。去年は敷物を広げることに苦戦していた子ども達でしたが、今回はささっと敷いている姿に成長したなあと思いました。敷物を広げたのはいいものの、そこにてんとう虫やありなどの虫が寄ってきて苦手な子はお弁当の準備どころではありません。虫を手で追い払える子もいますが、「ムシーー！」「イヤー！」と声が聞こえ、苦手な子は虫がいない隙に準備をして食べ始めます。

虫騒動が少し収まったころ、お弁当を狙って 1羽のカラスが 1mぐらい近くまで寄ってきて、先生が頑張って追い払ったもののみんなはまたまたパニック状態でした。

今回はみんなにとってとても記憶に残る遠足となったようです。これからも色々な出来事を経験しながら子ども達と楽しめたらいいなと思っています。



池田

くじらぐみ



4月から豊平川など遠い所まで散歩の距離を伸ばして、交通ルールや散歩の時の約束を確認しながら歩く経験をしてきました。それに伴って体力がついてきたかな？ということで、小遠足は片道40分くらいかかる『とよぞの公園』に行ってきました。

前日に行き先や持ち物を皆で確認しました。まず地図を見て行ったことがある場所ととよぞの公園の場所を比較すると「川より遠い！」と驚き、「頑張らないと公園で遊ぶ時間が少なくなっちゃう！」と張り切っています。持ち物は自分が困らないように自分で準備をすることを話したので、遠足は楽しみだけど「忘れ物してないかな？」「大丈夫かな…」と色々な気持ちになっていたようです。

当日は少し暑いくらいの良い天気、サイクリングロードを歩きながらライラックやつつじなどを見て色々な草木の名前を覚えたり、お喋りを楽しみながら歩いたりしていました。

公園ではターザンロープと幅が広い滑り台が大人気で、友達と2人並んで滑っているのを見て「3人でも並べそうだね」と友達を誘って3人同時滑りがとても盛り上がっていました。ターザンロープは傾斜があり、滑り終わって次の人へロープを届けるのに苦戦していましたが、「手が届かない～戻っちゃう～」と友達とのやりとりもひっくるめて楽しそうでした。

これからもっと遠くへ出かける機会が増えていくくじら組。今回の小遠足で「自分達の力で遠い所まで行けた！」という自信に繋がっていただけたらいいなと思います。

上田

